

家庭科「生活産業情報」シラバス	単位数	2単位
	学科・学年・学級	総合学科 服飾調理系列 2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報処理に関する知識と技術を習得させます。 2 生活産業の、各分野の情報を収集・分析・発信する手段を活用する能力と態度を身につけます。
使用教科書・副教材等	教科書「O25 家庭情報処理」(実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい・目標	備考 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など	範囲	
第1学期	『生活産業情報』を学ぶにあたってのオリエンテーション	4	「生活産業情報」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、学習方法や評価の方法、情報処理室の使い方、コンピュータ利用の注意事項などについて理解します。		期末 考査	
	第1章 高度情報通信社会とコンピュータ		・高度情報通信社会といわれる現代について考え、情報処理の重要性について理解します。	生活と情報の関わりを身近な例で調査し、学習を深めます。		
	1. 私たちの生活と高度情報通信社会		・情報通信ネットワークの普及により、私たちの生活と情報とのかかわりの変化について身近な例をあげ理解します。	生活産業での利用法を調査し、学習を深めます。		
	1 情報化と高度情報通信社会		・生活産業で使用されているコンピュータについて学び、コンピュータが不可欠であることを理解します。			
	2 生活・産業の情報化		・コンピュータの種類・利用方法・注意事項などについて理解し、情報社会に対応できるようにします。	中学までの学習内容を調査し、重複箇所については復習程度とし、発展的な内容を盛り込み、学習を深めます。		
	3 情報処理とコンピュータ		・コンピュータを利用するには、ハードウェアとソフトウェアの両方の充実が必要であることを理解し、基本操作が出来るようになります。			
	2. 生活とネットワーク		・日本語ワードプロセッサの概要について理解し、操作方法を習得し、活用できるようにします。	全商ワープロ実務検定受験を盛り込み、生徒の興味関心意欲を高め、学習を深めます。		
	1 情報通信ネットワークのなりたち		・表計算ソフトについて理解し、基本的操作ができる技術を身につけます。さらに、データを分析活用する能力を身につけます。	全商コンピュータ利用技術検定の内容を盛り込み、学習を深めます。		
	2 生活への情報通信ネットワークの利用					
	3. 生活産業とコンピュータ					
1 コンピュータの種類						
2 生活産業へのコンピュータの利用						
第3章 コンピュータの機能						
1. コンピュータの基本的な仕組み						
1 コンピュータの機能						
2 コンピュータの基本動作						
2. ハードウェア						
1 コンピュータの基本的な装置						
2 コンピュータの周辺機器とそのはたらき						
3 パソコンの基本操作						
3. ソフトウェア						
1 コンピュータとソフトウェア						
2 OSの役割						
3 アプリケーションソフト						
第4章 情報の処理						
1. 日本語ワードプロセッサによる情報の処理						
1 日本語ワードプロセッサの機能						
2 ワープロの利用						
2. 表計算ソフトによる情報処理						
1 表計算ソフトの機能						
2 表計算ソフトの利用						
第2学期	3. 画像処理ソフトによる情報の処理				期末 考査	
	1 画像処理ソフトの概要		・画像処理ソフトについて理解し、操作方法を学び、はがき・ポスターなど様々な作品を制作し、情報を的確に処理する能力を身につけます。	校内行事のポスターやボランティア活動に使用するはがきなど、実際に活用する題材を学習することによって意欲的に授業にのぞみ、学習を深めます。		
	2 画像処理ソフトの機能		・高度情報処理社会の基盤であるインターネットについての課題や問題点、自分自身の関わり方について考え、関連する法律について理解します。	インターネットについてのいろいろな問題点や事件・事故など、新聞などを利用して調査し、ルールやマナー・セキュリティについて学習を深めます。		
	3 画像処理ソフトの利用		・個人のプライバシーの保護や著作権について正しく理解し、収集した情報の管理や発信する情報に対して責任を持つことが重要であることを認識します。			
	第2章 高度情報通信社会への対応のしかた					
	1. 高度情報通信社会の発展にともなう課題					
	1 高度情報通信社会とインターネット					
	2 情報の選択と発信					
	3 高度情報通信社会の問題と法律					
	2. 情報通信ネットワーク上のルールとマナー					
3. 情報通信ネットワークとセキュリティ						
1 ネットワーク利用のあやうさ						
2 セキュリティ対策とその限界						
第5章 情報の収集・処理・発信						
1. 通信ネットワークを利用した情報の収集			・インターネットの概要を学び、実際に情報の収集が出来るよう学びます。			
1 インターネットの概要						
2 インターネットの利用						
2. プレゼンテーションソフトを利用した情報の発信			・プレゼンテーションソフトの概要を学び、情報をどのように発信するか具体的に理解します。	プレゼンテーションやホームページ作成において、著作権と関連させ学習を深めます。		
1 プレゼンテーションソフトの概要						
2 プレゼンテーションソフトの利用						
3. ホームページ作成ソフトを利用した情報の発信			・ホームページの概要を学びホームページを作成し、情報の発信方法を具体的に理解します。			
1 ホームページの概要						
2 ホームページの作成						
3 ホームページの発信						
第3学期	4. 電子メールを利用した情報の受信・送信				学年 末 考 査	
	1 電子メールの概要		・電子メールの概要について学び、操作方法を具体的に理解します。	電子メールとコンピュータウイルスとの関係について学習を深めます。		
	2 電子メールの利用		・情報通信ネットワークや日本語ワードプロセッサ、表計算、画像処理、プレゼンテーションなど、各ソフトウェアを活用し、衣食住環境分野での利用方法を理解します。	一つの分野を選択し、様々な技術を用い、情報を収集・処理・発信する知識と技術を学びます。		
	5. さまざまな分野の利用					
	1 食生活分野での利用					
	2 衣生活分野での利用					
	3 住生活分野での利用					
	4 環境分野での利用					
	第6章 生活産業とコンピュータ					
	1. CAD/CAMシステムの活用			・CAD/CAMシステムの概要を知り、産業の中でどのように活用されているか理解します。		会社・事業所見学などを実施して、学習を深めます。
1 CAD/CAMシステムの概要						
2 CAD/CAMシステムの利用						
2. シミュレーションシステムの活用			・シミュレーションシステムの概要を知り、産業の中でどのように活用されているか理解します。			
1 シミュレーションの概要						
2 シミュレーションの利用						
3. データベースシステムの活用			・データベースシステムの概要を知り、産業の中でどのように活用されているか理解します。			
1 データベースシステムの概要						
2 データベースシステムの利用						
4. 生産管理システムの活用			・生活産業において実際に行われている生産管理システムの概要と利用について理解します。			
1 生産管理システムの概要						
2 生産管理の利用						